

# 図書館だより10月号

令和3年10月27日  
万代高校図書館

肌寒い日が増えてきて、秋の深まりと冬の気配の両方が混じり合ったような最近の気候です。皆さん、体調を崩したりしていませんか。服装でしっかり体温調節をして、寒い時季を乗り越えましょう。

先月は食欲全開の図書館だよりでしたが、今回は表も裏も隅から隅まで「芸術の本」…中でも、本そのもののデザインや挿絵が美しく、見て、読んで、触って楽しむ魅力的な本をたくさんご紹介します。図書館で見かけたら、手に取ってみてくださいね！

図書館司書 楠

PICK UP!

「アートな本」

「モネへの招待」

朝日新聞出版



「印象派」の先駆けとして知られるクロード・モネの作品と人生を紹介。柔らかな光と色彩を描いた作品の数々に触れてみてください。

「PROGRESS」 瀬戸優

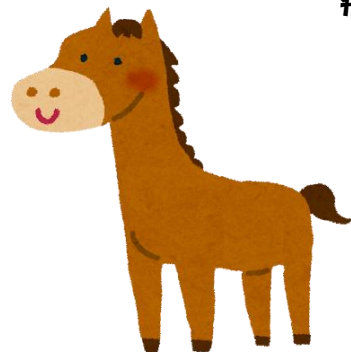
日貿出版社



素焼きした粘土で、様々な動物の姿を表現する若き彫刻家、瀬戸優のペン画によるデッサン画集。彫刻家ならではの立体的な表現は、繊細でいて迫力があり、画面を飛び出しそうです。

「ほくモグラキツネ馬」 チャーリー・マッケジー

飛鳥新社



シンプルな線で描かれたイラストと、心にまっすぐ届く優しい言葉で作られた、とても美しい本です。とはいえ堅苦しい本ではなく、どこを開いても温かなユーモアに溢れています。少年とモグラ、キツネ、馬…それぞれのキャラクターの中に、読者はきっと自分自身の姿を見つけるでしょう。

## 千の扉あけて 第6章

本の表紙を開いて最初に現れる、タイトルの書かれたページのことを「扉(とびら)」と呼びます。本を開くことは、いろんな世界、いろんな物語、いろんな知識へとつながる扉を開くこと。これから皆さんを、無数にある扉のひとつへのご案内します。それをあけるかどうかは、あなた次第。ですが一冊の本の世界を旅した時、きっとそれ以前とは変わっている自分に気づくでしょう。今回の「扉」は…

### 『内なる町から来た話』

ショーン・タン著  
岸本佐知子訳

726  
タ

オーストラリアの作家・イラストレーターであるショーン・タンによる短編小説集です。



25編の物語は、それぞれにある動物の姿が描かれます。人間を訴えたクマ、空を泳ぐ魚、ビルの87階に住んでいるワニたち、電線の上を走る馬、などなど。それらのショートストーリーは、SFありファンタジーあり、そして人間世界の矛盾や残酷さを風刺しているような描写もふんだんにあります。人間と動物たち、ひいては自然とのかかわり方について、考えるきっかけになるかもしれません。

ひとつひとつの物語には、作者自身による油絵の挿画が見開きいっぱい載せられています。大迫力のもの、静かで穏やかな印象のもの、不穏な感じがするもの、不安や恐怖を掻き立てるものなど、その画力には圧倒されるばかりです。こんなふうに色鮮やかな作品や、鉛筆画の一色だけで描かれた作品、可愛らしいタッチの作品など、様々な作風で物語を生み出していく魅力的な作家です。私は彼の作品がとても好きで、この一冊だけではお話しし足りないなので、今回は裏面でショーン・タンの作品をいくつかご紹介しますね。

それではまた、次の扉でお会いしましょう！



## ショーン・タンを知っていますか？

オーストラリア生まれのイラストレーターで絵本作家、映像作家などの顔を持つアーティスト。鉛筆、油絵など様々な画材を使いながら、私たちが見たこともない世界や生き物たちを描き出して見せてくれます。

独特の世界観の魅力が話題を呼び、全世界でファンを増やしているショーン・タンの作品は、図書館入口すぐのパネルに展示してありますので、ぜひ手に取ってみてください。

### 『アライバル』

河出書房新社



鉛筆の濃淡だけで描かれた、緻密なタッチの絵に驚くこと間違いなし。奇妙な姿の生き物や、様々な民族の人たちが行き交う見知らぬ街の風景が、ひとりの男の視線で描かれます。

そして、この本には文章がありません。にも関わらず、絵がストーリーを語りだします。ショーン・タンの名を一躍有名にした代表作のひとつ。

### 『ロスト・シング』

河出書房新社



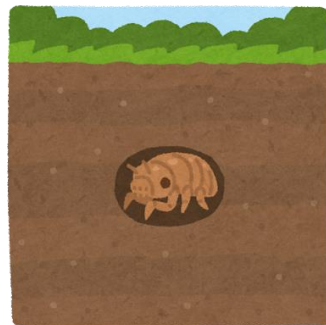
カラフルなキャラクターで描き出される、不思議な迷子と少年の出会いの物語。

忘れ去られたものたちは、どこへ行くのか？すこし切なく、なんだか懐かしい気持ちを思い出させてくれます。

CG アニメーションの短編映画にもなっていて、2011年アカデミー賞短編アニメーション賞を受賞しています。

### 『セミ』

河出書房新社



スーツ姿で、人間たちに交じって働くセミ。昇進もなく、会社のトイレも使わせてもらえない。理不尽な扱いを受け、虐げられても17年間働き続けたセミは、その後…？

衝撃のラストを、あなたはどうか受け止めるでしょうか？油彩で描かれた、重くて暗い印象の絵が、物語の静かな怖さを表現しています。

### 『エリック』

河出書房新社



ホームステイにやってきた奇妙な交換留学生、エリック。人間の社会は、彼にとっては不可解なことばかり。ある日突然、「ごきげんよう」と去っていったエリックが残したものの、とは…

可愛らしく、じんわり心が温まる小さな絵本。私の部屋には、この本のワンシーンを額装した絵が飾ってあります。